

アクティビティに挑戦 裁判員として裁判の判決を考えよう(教科書p. 98～99)

年 組 番

TRY1

①被害者は誰で、どのような被害に遭ったのだろうか。

被害者：
どのような被害にあったのか：

②加害者は誰で、被害者に対してどのようなことをしたのだろうか。

加害者：
どのようなことをしたのか：

TRY2

①<対話>証人①～③の証言は、それぞれ被害者と加害者のどちらの主張を補強するものだろうか。周りの人と意見交換をしてみよう。

証人① 通行人	証人② 居酒屋さんの店員	証人③ Cさんの友人

TRY3

① Aさんの行為について、正当防衛の要件から検討してみよう。

①CさんがAさんに殴るような姿勢をしたことは、Aさんにとって急迫不正の侵害に当たるか。	
②AさんがCさんにした回し蹴りは、自分自身やBさんを守るための行為か。	
③Cさんの殴るような姿勢に対するAさんの回し蹴りは、やむを得ないものか。	
④Aさんに正当防衛を行う意思はあったか。	
⑤空手三段のAさんが回し蹴りをしたことに行き過ぎはなかったか。	

②あなたが裁判員なら、Aさんをどのような判決とするか考えてみよう。有罪の場合は、教科書 p. 99 ②を参考に量刑も考えてみよう。

判決	<input type="checkbox"/> 有罪(傷害致死)、量刑() <input type="checkbox"/> 無罪
----	--

③<対話>②について、周りの人と意見交換をしてみよう。

振り返り

◎…よくできた ○…できた △…あまりできなかった

実際に起きた事件を通して、裁判の流れについて理解することができた。	(◎ ○ △)
検察官と弁護人の主張をもとに正当防衛について検討し、判決を考えることができた。	(◎ ○ △)